

様式

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第1回川越市協働事業審査委員会
開 催 日 時	令和6年4月15日（月） 午後14時00分 開会 ・ 午後15時50分 閉会
開 催 場 所	川越市役所本庁舎 第5委員会室
議 長（会長） 氏 名	櫻井晶夫副委員長
出席者（委員） 氏名（人数）	櫻井晶夫副委員長 佐藤保雄委員 梶原綾子委員 藤井美登利委員 米原民子委員 柳内邦章委員 山下利一委員（7名）
欠席者（委員） 氏名（人数）	遠藤克弥委員長 真下英二委員 野本吉憲委員 （3名）
事 務 局 職 員 職 氏 名	地域づくり推進課 課長 福釜周二 副主幹 熊谷真一 主任 森裕美
傍 聴 者 人 数	1名
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 （1） 令和6年度会議等スケジュールについて （2） 制度概要及び審査基準について （3） 令和6年度協働事業プレゼンテーション等の説明 4 その他 5 閉会
配布資料	別 紙・・・次第 資料1・・・川越市協働事業審査委員会の傍聴に関する要領 資料2・・・令和6年度協働事業審査委員会スケジュール概要 資料3・・・川越市協働推進事業制度のポイント 資料4・・・川越市提案型協働事業補助金審査基準 資料5・・・川越市協働委託事業審査基準 資料6・・・提案型協働事業プレゼンテーションについて 資料7・・・協働事業ヒアリングについて 参考・・・令和5年度協働事業

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>開 会 14時00分</p> <p>1 開 会</p> <p>2 副委員長あいさつ</p> <p>会議の成立</p> <p>市協働事業審査委員会条例第5条第2項</p> <p>会議の傍聴⇒可（傍聴者1名） 原則公開</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 令和6年度会議等スケジュールについて</p> <p>資料2：令和6年度協働事業審査委員会スケジュール概要説明</p> <p>令和6年4月15日：令和6年度プレゼンテーション等の説明 について</p> <p>令和6年5月16日：協働事業プレゼンテーションヒアリング</p> <p>令和6年5月27日：「協働事業補助金」交付団体決定 「協働委託事業」実施団体決定</p> <p>令和6年1月中旬頃：協働事業実施状況報告・報告会説明</p> <p>令和6年2月10日：協働事業報告会</p> <p>令和6年3月下旬頃：令和7年度提案型協働事業採択（継続事業）</p> <p>状況に応じて審査委員会を1回増やし、第4回を7月から8 月頃開催する予定。内容は報告会の審査方法、委員会事業視察、 協働指針について。</p> <p>(2) 制度概要及び審査基準について</p> <p>資料3：川越市協働事業推進制度のポイントを説明</p> <p>資料4：提案型協働事業補助金審査基準を説明</p> <p>資料5：協働委託事業審査基準を説明</p>
事務局	

委員	協働委託事業では、審査項目の予算の妥当性について予算は担当課が出しており、団体からもう少し見直してほしいという意見もあった。予算の妥当性は担当課が出してきた予算が妥当かということか。
事務局	担当課が計上し、予算査定が行われた額となっている。
委員	人件費について団体にも費用が安く感じられると質問したが、それに対して担当課は毎年要求を出しているということか。
事務局	毎年要求は出している。
委員	それが見えるようにしてほしい。委員としても毎回質問することで残っていくとは思う。委託する時に市民活動団体だから安く使っていいということではない、良き前例であってほしい。
副委員長	提案型と委託は内容が異なる。その点も含めて協働指針の見直しができるとうい。実際市も財政が厳しいので豊富に予算を確保することが難しい。ぎりぎりの中で工夫しながら事業をどうやっていくか、担当課と団体の技量による。
事務局	<p>(3) 令和6年度協働事業プレゼンテーション等について</p> <p>資料6：提案型協働事業プレゼンテーションを説明</p> <p>資料7：協働委託事業ヒアリングを説明</p> <p>令和6年度新規の提案型協働事業は5件、継続事業は6件、徐々に件数は伸びつつある。</p> <p>提案型継続事業については既に採択されているため点数による審査はないが、意見等をご記入いただき、団体にフィードバックしたい。</p>
委員	毎回思うが15分のプレゼンテーションの中で質疑応答では理解が追いつかない、少し長くすることはできないか。
事務局	今回1日かけてプレゼンテーション・ヒアリングを行うが、件数を考えるとかなりぎりぎりの時間。事前に資料を読んでいただき15分の中でお願いしたい。
委員	資料も読んでいるが、いつも時間がなく聞ききれない部分が

事務局	<p>ある。</p> <p>事務局としても時間を見つつ臨機応変に対応したいとは考えているが、難しい部分もあるので気づいた点などあれば審査票コメント欄に記入していただきたい。</p>
副委員長	<p>時間は限られているがその中で有効に使っていただくしかない。団体ごとに時間が異なるとおかしいので、時間内で積極的に質問していただきたい。</p>
委員	<p>新規の提案団体がどんな思いで申請してくるのか。動機や思いが知りたい。提案してくる団体はふたつあると思う。ひとつはこの事業は協働事業として大事だからと出すもの、もうひとつは補助金目当てのもの。協働事業のあり方がわかってない団体もある。3年度経ったときに協働事業でよかったと思えばいい。少しずつ前向きに変化していければいい。</p>
委員	<p>昨年度の事業で単年度ではウェスタの予約ができないから事業ができないという声もあった。</p>
副委員長	<p>ウェスタを使用しそうな団体にはウェスタの予約時期を事前に知らせておく必要がある。</p>
委員	<p>他市と比べると他市は市民活動助成金というのがあり、いきなり行政と協働するまでいかない形の制度でやっている市がほとんど。川越は立ち上げたばかりの団体でも市と協働するので、そういう団体も応募してくる可能性がある。そういう目で団体を一から育てていくことも必要。</p>
委員	<p>考え方として協働事業の趣旨をわかってくれる団体を応援したい。</p>
委員	<p>もし考え方に疑問があれば審査で落とすということもある。そのあたりは審査委員に委ねられている。</p>
事務局	<p>申請前の段階で市民活動団体が窓口で相談などに来た際には担当が制度概要等を説明している。今の意見を受けて今まで以上に窓口での説明を丁寧にしていく。</p>

副委員長	<p>報告会の審査票のコメントの回答がきていない、団体の回答が欲しい。</p>
事務局	<p>継続事業の団体についてはプレゼンテーションの際にコメントも踏まえた発表をお願いしている。プレゼンテーションの時のコメントについては後日書面で回答するようにしている。報告会からプレゼンテーションまでの期間が短く、事業の申請等もあるので報告会でのコメントについては書面での回答ではなくプレゼンテーションの時に補っていただいている。</p>
事務局	<p>5 その他</p> <p>(1) プレゼンテーション・ヒアリングについて</p> <p>今年度新規で5件、継続が6件、委託が2件あり、1日になる予定。現状では午前中に継続事業6件のプレゼンテーション、午後委託事業2件、新規事業5件と考えている。</p> <p>会場の関係で団体、所管課の他は傍聴人に限って公開する。また昨年同様、発表の様子をビデオ撮影し後日市の公式YouTubeチャンネルで公開する。</p>
副委員長	<p>6 閉 会</p> <p>副委員長あいさつ</p> <p>閉会 15時50分</p>